

2009年3月

JICA 農村開発部

「アフリカ稲作振興のための共同体 (CARD) イニシアティブ」

「国別稲作振興戦略 (NRDS)」 ワークショップ実施結果概要

「アフリカ稲作振興のための共同体 (Coalition for African Rice Development: CARD) イニシアティブ¹」では、昨年 10 月にケニアで開催した第 1 回 CARD 本会合において支援対象国の第 1 グループ(12 カ国²)を選定しました。第 1 グループの各国は現在、自国の稲作の分析結果を踏まえ、今後の課題や政府の取組みなどを記載した「国別稲作振興戦略」(National Rice Development Strategy: NRDS)を作成中です。

去る 2 月 2 日から 5 日にかけて、ベナンのアフリカ稲作センター(WARDA)において、各国の NRDS 担当者、並びに JICA を含むメンバー機関の農業専門家ら計 41 名の参加により、作成中の NRDS の精緻化に向けたワークショップが開催されました。コメの生産から流通までを網羅する国家政策を、各国政府がオーナーシップを持って作成する姿勢が一貫して見られ、CARD イニシアティブへの強い参加意欲が窺われました。

本ワークショップでの意見を反映した上で、2 月下旬には第 1 グループ各国の NRDS が CARD 事務局(ケニア)に提出されました。今後の予定としては、6 月上旬に JICA 研究所において第 2 回 CARD 本会合を開催し、各国の NRDS を発表するとともに、NRDS に基づくドナーによる支援の可能性について協議することになっています。

以上



ワークショップでの全体討議の様子



議事進行を務める

CARD 事務局 平岡企画調査員

¹ 2008 年 5 月に開催された TICAD IV のサイドイベントにおいて、国際 NGO アフリカ緑の革命のための同盟 (Alliance for a Green Revolution in Africa : AGRA) と JICA が共同で発表。

² カメルーン、ガーナ、ギニア、ケニア、マリ、モザンビーク、ナイジェリア、セネガル、シエラレオネ、タンザニア、ウガンダ、マダガスカル。